

令和4年度 石狩地区教育経営研究会

- 1 目的 教育経営の充実を期し、今日的教育課題について研究を深める。
- 2 主催 北海道小学校長会、北海道中学校長会、石狩管内小中学校長会
- 3 日時 令和4年10月4日(火)
- 4 会場 石狩教育研修センター
- 5 参加者 石狩管内小中学校長会員他(26名)
- 6 日程 15時00分～15時15分 開会式
15時15分～15時30分 全国・全道情勢報告
15時30分～15時50分 道小・道中からの回答
15時50分～16時10分 道小・道中への質疑応答並びに要望
16時10分～16時15分 閉会式

7 開会式

- | | | | |
|-----------|------------|------|---------|
| (1) 主催者挨拶 | 石狩管内小中学校長会 | 会長 | 鹿野 秀一 |
| (2) 講師団挨拶 | 北海道小学校長会 | 会計理事 | 末原 恵蔵 氏 |
| (3) 講師紹介 | 石狩管内小中学校長会 | 経営部 | 堀田 裕之 |

8 全国・全道情勢報告(抜粋)

北海道小学校長会 会計理事 末原 恵蔵 氏

(1) 小中学生の情報端末「1人1台」配備について

- ・全国の公立小中学校に配備された情報端末の数が昨年度、児童生徒数を上回った。
- ・自治体によっては職員用が整備されていないところもあるので、働きかけていく必要がある。

(2) 公立学校教員採用選考について

- ・令和4年度(3年度実施)公立学校教員採用選考試験の実施状況は、過去最低となる平成3年度と同率の3.7倍、小学校では2.5倍と過去最低値を記録した。
- ・文科省は今後、各教育委員会における教員採用選考試験の取組を共有し選考試験の改善を促すほか、教員採用選考試験の早期化・複雑化を含む多様な入職スケジュールの検討、民間企業の入職支援や特別選考の実施などを推進する。

(3) 生徒指導提要の改訂について

- ・12年ぶりに改訂された。今回の改訂に盛り込まれた内容は、「インターネット・携帯電話に関わる問題」「多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導」等、小学校段階からの指導が重要視される内容になっている。「不適切な指導」となり得る行為の例も示されている。

9 道小・道中からの回答

北海道小学校長会	幹事	工藤 雅人 氏
北海道中学校長会	幹事	小森 享 氏

(1) 教育課程(オンライン授業の時数へのカウント)について

【回答 (抜粋)】

道小・道中ではこの件について現段階では取りまとめてはいませんが、今後、多数意見が上がれば、調査の対象として取り上げていく。オンライン学習については、今後もインフルエンザや地震等様々な場面で活用される可能性がある。しかし、それが授業としての条件として成立するかどうかは慎重に判断すべきと考える。

(2) 生徒指導 (スクールカウンセラーの小学校も重視した増員) について

【回答 (抜粋)】

社会が不安定でコミュニケーションがとりにくい昨今、子供の心が不安定であり、スクールカウンセラーの重要性については全くその通りと考える。スクールソーシャルワーカーやスクールロイヤーの配置拡充を求めていく。

(3) 待遇改善 (教職員の負担軽減や業務改善、待遇の見直し) について

【回答 (抜粋)】

働き方改革については道小・道中ともに重要課題と捉えている。教職員が安心して働くことができる環境の整備や負担軽減、職責に見合った管理職手当支給基準の改善を求めている。今後道教委からの回答を受け、必要に応じて文教施策懇談会等で取り上げていきたい。

(4) 教育改革 (幼保小連携、新たな研修制度) について

【回答 (抜粋)】

幼保小連携については、北海道特有の地域性等の要件から、市町村により実態が大きく異なるのが実情である。今後、各種研修会、懇談会、調査等において声をあげていただきたい。また文科省は、「幼保小かけはしプログラム開発」として、北海道を採択しており、活動の充実が全道の幼保小連携を強めることに繋がることを願っている。

8月31日付文科省からの通知により方向性が示された。任命権者はこうした指標を踏まえた教員研修計画を作成することと示されており、今後、道教委から具体的な研修計画が示されることとなる。教育委員会・校長会ともに連携できるよう進めていきたい。

10 道小・道中への質疑応答並びに要望

- (1) 全日中、全連小の動きとして統合する見通しはないのか。道小・道中が先かぎって統合に向け取り組んで欲しい。
- (2) 不登校児童生徒に対しオンライン学習を出席扱いとすることについて、道小・道中の考えをお聞かせ願いたい。
- (3) 全道各地域における部活動の地域移行に関する現在の状況や、道中として今後の見直し等を教えていただきたい。

【回答 (抜粋)】

- (1) 時間をかけて議論を進めていく必要がある。道小・道中にも要望があったことを伝える。
- (2) 文科省が示している出席扱いの6つの要件にあてはまるか慎重に判断すべき。今後、好事例が集約されるなどしながら、より適切な方策を検討されていくことになるので注視していく必要がある。
- (3) 道教委では「部活動在り方協力検討地域」として石狩市等の5市町村を決定し、休日の部活動の円滑な地域移行に向けた支援を行い、好事例となる取組を道内に普及したり啓発したりすることとしている。空白の時間を作らないことが大切である。新しい仕組みとして参加資格の緩和、引率規定の見直しを検討している競技団体もある。

11 開会式

- (1) 主催者挨拶 石狩管内小中学校長会 副会長 吉田 篤弘